

ABC

会社案内 | 第93期
中間事業のご報告

2019年4月1日~2019年9月30日



朝日放送グループホールディングス株式会社

証券コード：9405

変化に対応しながら進化を続け、 強力な創造集団として、社会の発展に寄与する

2018▶2020

朝日放送グループ中期経営計画

「SUNRISE」

	グループ連携の強化
戦 略 目 標	コンテンツの創造と価値の最大化
	成長投資と新規事業への挑戦
	変化に対応する人材の育成
	業務効率化と付加価値の高い働き方の実現



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より朝日放送グループに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「変化に対応しながら進化を続け、強力な創造集団として、社会の発展に寄与する」。この経営理念を永続的に実行していくため、当社グループは2018年4月、認定放送持株会社体制に移行しました。グループ各社の連携を最大限活かして、さらに価値が高いコンテンツを創造し、“総合コンテンツ事業グループ”として進化することが最大の目的です。

また、同時にスタートした中期経営計画「SUNRISE」は折り返し地点を迎えています。当社グループの収益の柱はテレビ放送事業の広告収入であり、コア事業であるテレビの強化は必要不可欠です。映像の持つ力を最大化することで新たな価値を創り出し、テレビのメディアとしての価値もいかに向上させるかが最も重要です。

一方で放送収入だけに頼らない収益構造の確立と、新たな事業分野の開拓を目指すアクションも加速しています。魅力あるコンテンツを創り出し価値を高めることはもちろん、成長のためには新規事業への挑戦を欠かすことはできません。コンテンツ投資・M&A・海外事業等、グループの強化へ向けた新しい歩みは、芽吹きから開花へと成長しつつあります。

テクノロジーの進化、インターネット・SNS等の急激な普及に代表されるように、私たちを取り巻く環境は大きな転換期を迎えました。テレビやラジオに加えて様々なデバイスを通じたメディア接触が急増しています。だからこそ私たちは進化しなくてはなりません。

変化の激しい環境の中には大きなチャンスもあると考えています。役員から従業員まで一人ひとりが変革の意志を持ち、現状を変革のチャンスとして行動していきます。

盛況のうちに幕を閉じたラグビーワールドカップ2019日本大会に続き、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックも近づいてきました。そして2025年には大阪・関西での万博開催と、日本や関西が海外から注目される機会がますます増えることとなります。当社グループもメディアとしての関わりに加え、ビジネス創造の機会としても積極的に取り組んでいきたいと考えています。

今後も朝日放送グループへのご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年12月

朝日放送グループホールディングス株式会社
代表取締役社長 沖中 進

株式会社ディー・エル・イーとの 資本業務提携について



【ちゅらっぷす株式会社】
ゲームコンテンツ企画・
開発・運営を行うディー・
エルイーのグループ会社

朝日放送グループホールディングス株式会社は2019年5月、東証一部上場の株式会社ディー・エル・イー（以下「DLE」）が実施する第三者割当増資の引受を行い、資本業務提携契約を締結しました。

DLEは、IP（知的財産）の新規開発、IPを活用したマーケティング・サービス、アプリの企画開発等、映像コンテンツの企画制作及びメディア展開プランの策定・実行までを統合的に手掛けるファスト・エンターテインメント事業を展開しています。

放送収入だけに頼らず、放送を含むIPの最大化やIP起点のマネタイズ展開による“総合コンテンツ事業グループ”を目指す当社グループにとって、今回の資本業務提携は企業価値向上に資するものと考えています。

既にDLEとグループ各社による様々なプロジェクトが進行しており、新たな一歩を踏み出しています。今後もグループ一丸となって、良質なコンテンツを生み出し続ける創造集団としての歩みを強化していきます。

財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期・四半期純利益 (百万円)



一株当たり当期・四半期純利益 (円)



配当 (円)



上半期の世帯視聴率は、全日帯3位、ゴールデン帯2位、プライム帯1位、プライム2帯は2位となり、6年ぶりのプライム帯トップ(上半期)となりました!視聴者の方々に、毎日楽しんでもらえる番組づくりを心掛けていきます。



朝日放送テレビ



テレビ



日曜 よる7時58分～

全国ネット番組 「ポツンと一軒家」が 絶好調!!



衛星写真で見つけた“ポツンとある一軒家”を日本全国大捜索! スタッフが命がけ!?で山道を分け入って、どんな人がどんな理由で、そこに暮らしているのかを探る「ポツンと一軒家」は、2018年10月から放送を開始し、1年が経ちました。いまや、日曜夜の定番番組として、お茶の間に欠かせない存在となりました。上半期の平均視聴率は、激戦区の日曜ゴールデン帯で19.3%と同枠で歴代最高を記録!全国的にも好調で、系列各局では20%や30%を超える視聴率も獲得しています。今後も、週末の夜に、ほっとできるような日本の原風景とともに心温まる人生ストーリーをお届けいたします!

「おはよう朝日です」は“今日も元気でいってらっしゃい!”で40年!

1979年4月に「おはよう朝日です」は産声を上げました。以来40年間、毎朝大阪のスタジオから、関西の情報を発信し、“おはようございます!”“いってらっしゃい!”の挨拶とともに、元気に送り出してきました。この40周年という節目を迎えたことを、次の50周年に向けての第一歩と捉え、一年間様々な企画に取り組んでいます。8月には、そのスペシャル企画として、番組MC・岩本計介アナウンサーと気象予報士・正木明の40&50代コンビが、アフリカ最高峰キリマンジャロ(標高5,895メートル)の登頂に挑戦しました!この“番組史上最大の挑戦”は大きな感動を呼び、視聴者の方々に「挑戦」する「おはよう朝日です」をアピールしました。引き続き、視聴者の方々に役立つ生活情報と元気をお送りします!



月曜～金曜 あさ6時45分～



キリマンジャロ登頂に挑戦した
岩本計介アナウンサー(右)と
気象予報士・正木明(左)



新たな歴史を刻んだ！夏の高校野球



次なる100年の第一歩となる第101回全国高校野球選手権大会は、連日熱戦が繰り広げられました。特に、春夏通じて初の全国制覇を目指す履正社と、好投手を擁する星稜が戦った「決勝戦」は、11.0%と好視聴率。若年層を含め例年以上に幅広い視聴者層を獲得しました！また中継放送では、試合と試合の間に、実話をもとにした高校野球ショートドラマ「青空ふたたび」という青春ドラマを制作・放送するという新たな企画を実施しました。球児たちの一球にかける想いやエピソードを熱くお届けする「熱闘甲子園」は、より多くの方に視聴していただけるように、「バーチャル高校野球」や「TVer」等の見逃し配信も充実させました。



コンテンツ戦略部は番組やコンテンツの出口戦略を企画立案、実施しています。中でも急速に市場が拡大している動画配信分野で積極的にチャレンジを行い、見逃し配信やバーチャル高校野球をはじめ各事業ともに好調で、収入面でも大成功を収めています。

まず、見逃し配信では民放公式ポータルサイト「TVer」で、人気の平日よる11時台のバラエティ「ナイトinナイト」をはじめ、「上沼恵美子のおしゃべりクッキング」「LIFE～夢のカタチ～」「朝だ！生でず旅サラダ～海外の旅～」や、日曜深夜の「ドラマ」などを配信。中でも「相席食堂」は、全国の再生数ランキングにおいて、常に上位に入る大人気配信コンテンツに成長しました。その他にも「ABCお笑いグランプリ」で初のライブ配信を「GYAO!」で行うなど、コンテンツ価値の最大化に挑み、新たな視聴者を開拓し続けています。



火曜 深夜2時39分～

次に、朝日新聞社と共同運営している高校野球総合オンラインサービス「バーチャル高校野球」では、甲子園球場での本大会全試合のライブ配信を実施。地方大会を加えると、計950試合のライブ配信を行いました。動画の再生数は累計で約4,500万回と過去最多を記録。スマートフォンでの視聴が年々増加する中、いつでもどこでも高校野球を楽しめる総合サービスとして、ユーザーから絶大な支持を集めています。

さらに、部活動を応援するYouTubeチャンネル「#部活ONE!」は朝日新聞社との協業で事業を進めており、チャンネル登録者数は12万人突破（2019年9月現在）。若い層をつかむことに成功しました。動画配信事業は収益面でも急成長しており、これからも地上波と連携しながらチャレンジを続けていきます！



スマートフォンでのライブ配信画面

視聴率は関西地区 ビデオリサーチ調べ	全日帯	ゴールデン帯	プライム帯	プライム2帯
	午前6時～午前0時	午後7時～午後10時	午後7時～午後11時	午後11時～午前1時



ラジオ

2019年6月のラジオ個人聴取率の調査(対象:男女12～69歳)では、週平均、平日平均、平日ゴールデンタイム平均で2位でした。

特別番組「10.19」各賞を受賞

30年前のプロ野球の名勝負を題材にした特別番組「『10.19』～7時間33分の記憶～」が、ギャラクシー賞ラジオ部門で選奨を、日本民間放送連盟賞のラジオ報道番組部門で優秀を受賞しました。

CM部門で4年連続の最優秀

日本民間放送連盟賞のラジオCM部門で、ABCラジオの作品が4年連続で最優秀に選ばれました。



朝日放送ラジオ

人気番組「桑原征平 粋も甘いも」
15周年記念イベント
「桑原征平 生前葬 ～甦生の儀～」
を9月に開催。



CONTENTS

コンテンツ



ABCフロンティアホールディングスグループ

「ABCアニメーション」は、プリキュア、深夜アニメとともに映画関連が好調でした。深夜アニメ関連では上半期に公開した「青春ブタ野郎はゆめみる少女の夢を見ない」「劇場版Free!-Road to the World-夢」などが興行での想定収入を大きく上回っています。

「ABCインターナショナル」は、海外番販が堅調に推移。また、7月からベトナム・ホーチミン市テレビ(HTV)でABCテレビの名物番組「パネルクイズ アタック25」のフォーマットを活用した現地版の放送がスタート。プライム帯でのレギュラー放送で視聴率も好調です。

「ABCライツビジネス」は、好調な国内配信事業などで売上を伸ばしたほか、4月クールドラマ「神ちゅんず～鳴らせ!DTM女子～」では、配信に加えて放送の前後にファン向けのイベントを開催するなど、新たな収益モデルの開発にも取り組みました。

「ABCフロンティアホールディングス」は前述の3社の経営指導、コンテンツの二次利用に欠かせない権利処理業務の効率化などを進めつつ、分散型動画メディア「Onnela(オンネラ)」、事業者連携新商品開発ツール「PLABORE(プラボレ)」などの新規事業も進めています。



©おおこうじ・京都アニメーション/岩倉町後援会2019
「劇場版 Free! - Road to the World - 夢」



ベトナム版「パネルクイズ アタック25」

会社の概況

会社名	朝日放送グループ ホールディングス株式会社 Asahi Broadcasting Group Holdings Corporation
創立	1951年3月15日
資本金	52億9,980万円
事業内容	認定放送持株会社
所在地	〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目 1番30号 Tel.(06)6458-5321(代表)

朝日放送グループホールディングス
コーポレートレポート2019

グループの全体像と業績を1冊にまとめました。
下記のアドレスから閲覧・ダウンロードが可能です。

<https://corp.asahi.co.jp/ja/company/report.html>



朝日放送グループホールディングス

役員

(2019年9月30日現在)

代表取締役社長	沖中 進
代表取締役副社長	山本 晋也
取締役常務執行役員	緒方 謙
取締役常務執行役員	千原 邦義
取締役執行役員	安田 卓生
取締役執行役員	角田 正人
執行役員	井上 隆史
執行役員	小濱 直人
社外取締役	尾崎 裕
社外取締役	藤井 龍也
社外取締役	亀山 慶二
取締役 (常勤監査等委員)	菅野 公一郎
取締役 (常勤監査等委員)	小倉 一彦
社外取締役 (監査等委員)	加藤 好文
社外取締役 (監査等委員)	米田 道生
社外取締役 (監査等委員)	黒田 章裕

グループ会社一覧

(2019年9月30日現在)

	朝日放送テレビ(株) テレビ放送事業
	朝日放送ラジオ(株) ラジオ放送事業
	(株)スカイ・エー CS放送事業
	(株)イー・ビー・シーメディアコム 通信販売業務、ラジオ番組制作、音楽出版
	(株)イー・ビー・シーリブラ テレビ番組企画・制作、映像の保存・管理
	(株)ABCフロンティアホールディングス (株)ABCアニメーション、 (株)ABCインターナショナル、 (株)ABCライツビジネス の経営管理、ライツ管理、新規事業開発
	(株)ABCアニメーション アニメコンテンツの企画・製作、 海外販売、物販など
	(株)ABCインターナショナル 番組販売、フォーマット販売など 海外に関連する収益事業
	(株)ABCライツビジネス パッケージ販売、物販事業、 ライセンス事業、キャラクター事業
	(株)デジアサ デジタルコンテンツ制作、字幕制作
	(株)アイネックス 総合技術プロダクション
	(株)マッシュ イベント企画・制作、プロモーション
	(株)ディー・エル・イー ファスト・エンターテインメント事業
	ちゅらっぶず(株) ゲームコンテンツ企画・開発・運営
	イー・ビー・シー開発(株) 住宅展示場の企画・運営、ハウジングデザインセンターの 企画・運営、保険代理業、広告代理業、不動産事業
	(株)ABCゴルフ倶楽部 ゴルフ場運営
	ABCドリームベンチャーズ(株) コーポレートベンチャー・キャピタルの運営
	ABC HORIZON PTE. LTD. (本社:シンガポール) 海外での新規事業開発及び ビジネス調査・サポート
	(株)イー・ビー・シー興産 警備保安業務、施設管理業務

株式の概況

(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	144,000,000株
発行済株式総数	41,833,000株
株主数	30,076名

大株主

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社朝日新聞社	6,224,900株	15.2%
株式会社テレビ朝日ホールディングス	3,877,600株	9.5%
公益財団法人香雪美術館	2,930,000株	7.1%
学校法人帝京大学	1,554,000株	3.8%
朝日新聞信用組合	1,500,000株	3.7%
大阪瓦斯株式会社	1,065,000株	2.6%
日本生命保険相互会社	1,005,200株	2.5%
近鉄バス株式会社	800,000株	2.0%
株式会社竹中工務店	776,600株	1.9%
株式会社りそな銀行	763,500株	1.9%

(注) 当社は、自己株式850,018株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主優待

対象 100株以上保有の株主様
(3月末、9月末現在に株主名簿記載)

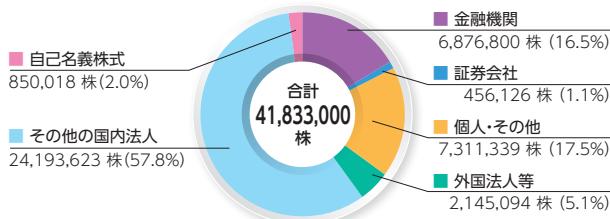
内容 番組特製500円分
QUOカード
年2回発送
(合計1,000円分)



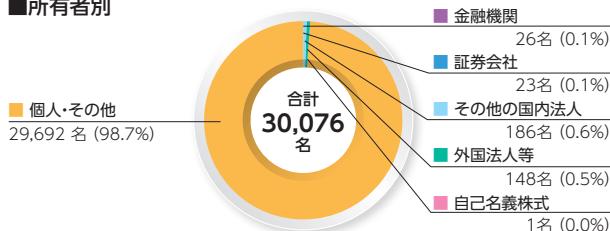
株式分布状況

(2019年9月30日現在)

■所有者株数別



■所有者別



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031

(ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

証券コード 9405

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
(<https://corp.asahi.co.jp>)

